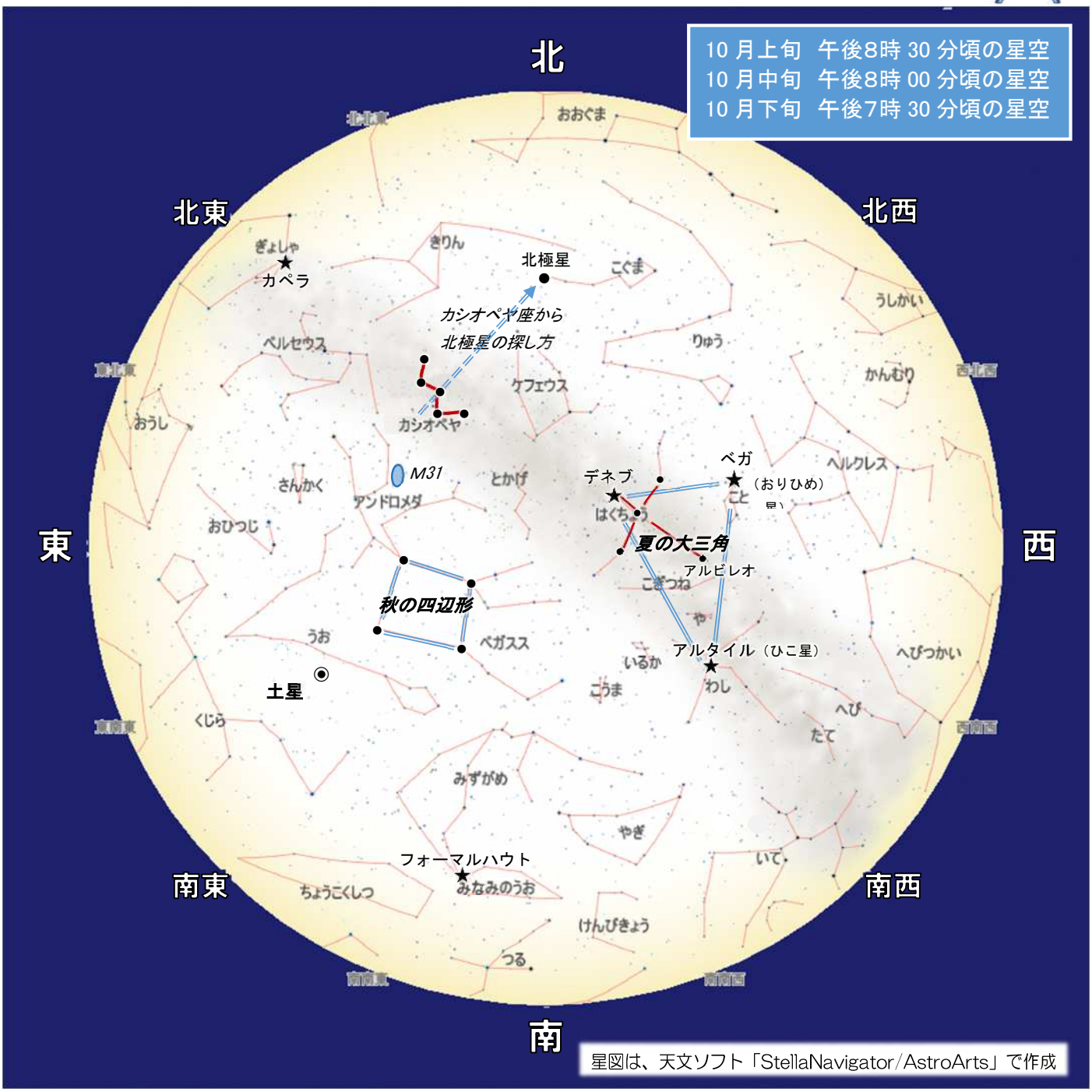
2026年 10月の星空案内



【１０月の星空】

宵（よい）の空高くには、まだ『夏の大三角』の１等星（ベガ・アルタイル・デネブ）が目立ちます。これを追って東から昇ってくるのが秋の星座たちです。ペガスス座を中心とした『秋の四辺形』は全て２等星ですが、周囲に明るい星が少ないのでよく目立ちます。南の空には、秋の星座で唯一の１等星「フォーマルハウト」が、低い空に輝いています。

【10月の天文現象】

土星がうお座で観望の好機を迎えています。土星はおよそ30年で太陽のまわりを一回りします。その間１５年ごとに、環は一直線になって見えなくなります。2025年は、ちょうど「環の消失」の年に当たりました。今年２０２６年は、再び環が開いて見え始めます。望遠鏡でのぞくと、環が美しい土星の姿をみることができます。また、２３日の月は、は「後の月」とよばれる十三夜の名月です。栗などをお供えして楽しむことから栗名月ともよばれます。

さいたま市青少年宇宙科学館